

# 若者の旅行の実態

見えてくるものは??

井上晶子

# 温泉の社会的歪み素因分析と その改革に向けて

・ふる里創生資金

⇒公営温泉施設の乱立

・市町村合併

⇒温泉地の空洞化

・団体旅行から個人旅行への市場変化

⇒取り残された大型温泉旅館

・なお続く温泉旅館の廃業

⇒資本理論と地域伝統社会の葛藤

・少子高齢社会

⇒諸制度崩壊と将来への不安

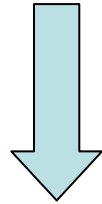
・最新医療の限界や日本人のライフスタイルの変化

⇒温泉に対する価値観の変貌

## 若者が旅行に行かなくなった……。

- 口コミならぬ……**ネットコミ**(ニュケーション)の広範に亘る不特定多数への即時的情報伝播
- 旅行市場はリピーター市場は「リピーター市場」
  - ①同じ目的地に再度訪れる(同じ商品を買うように)
  - ②同じ人が旅行行動を繰り返す(消費行動)

⇒期待される若者の**将来人財**
- 震災後の旅行回復=ヤング層:5月、ミドル層:6月、シニア層:11月、⇒若者の特性:外的環境の影響が他の年代層より長く続かない(リクルート「じゃらん宿泊旅行調査」)。

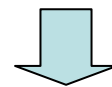
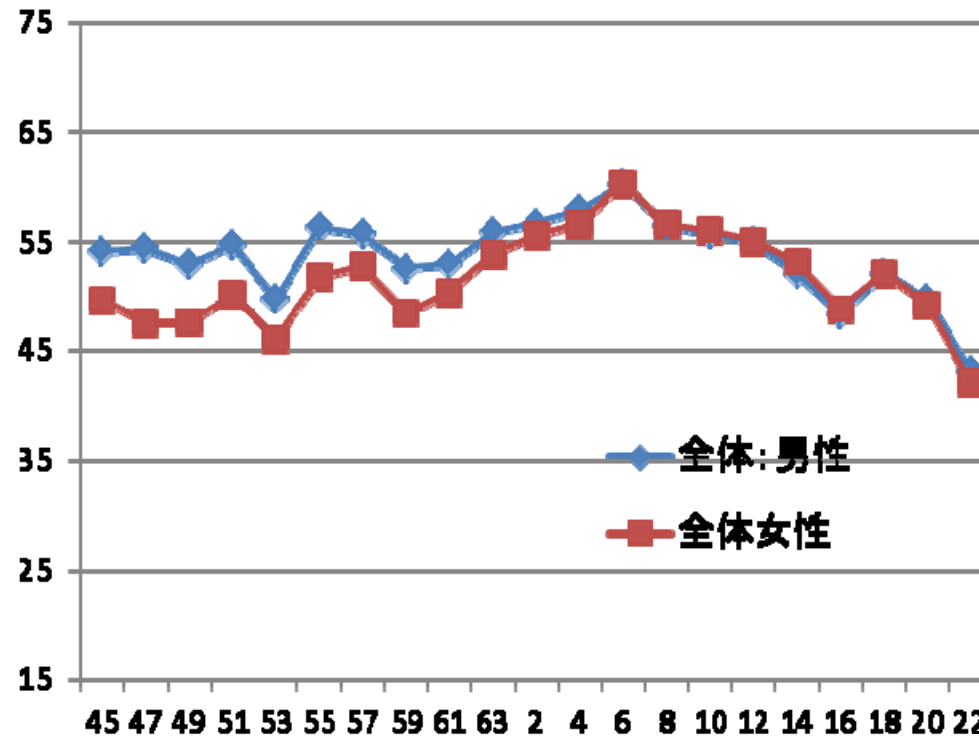


若者の旅行への参加度が高まることは、市場の拡大、維持に繋がるものとして期待される(グローバル社会では特に重要な要素ではないか)

# 若者は旅行をしなくなったのか……？

23年度版観光の実態と志向

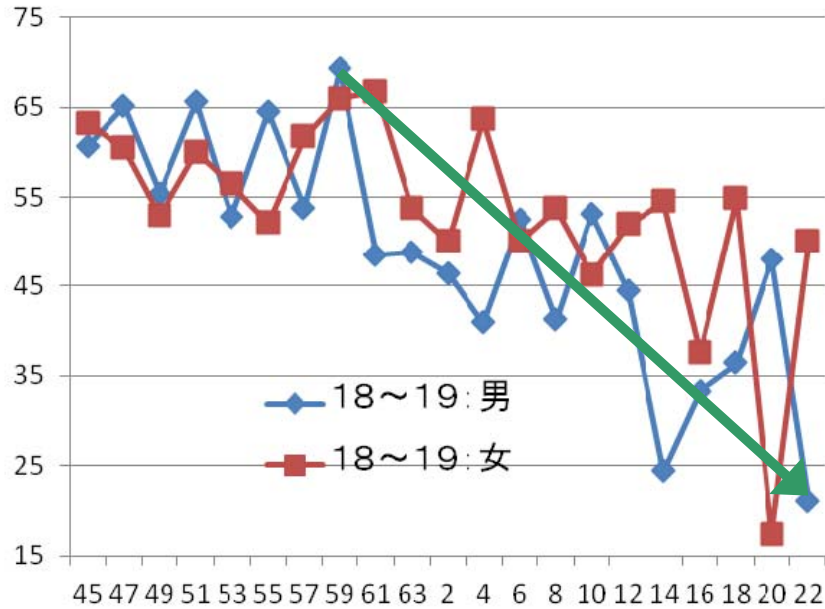
## 宿泊旅行参加率：全体の経年変化



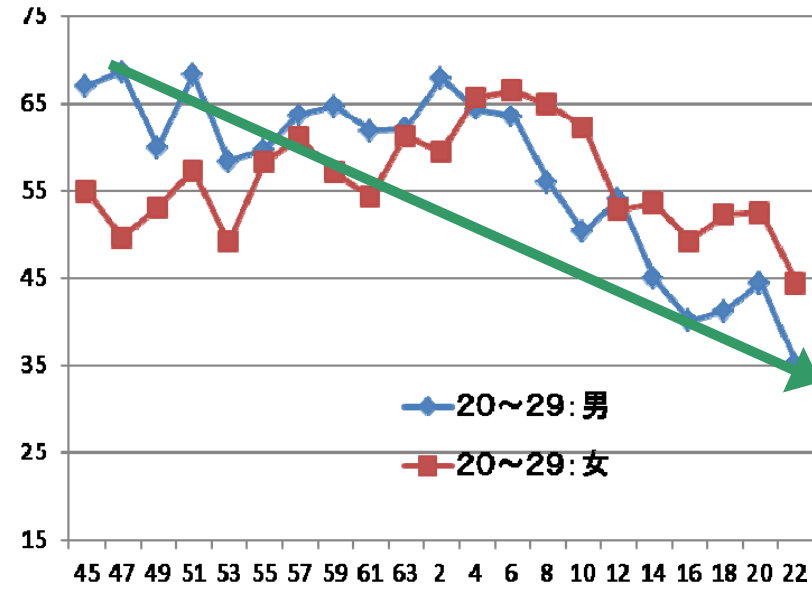
全体；平成6年をピークに参加率減少

# 若者の宿泊旅行参加率の変化

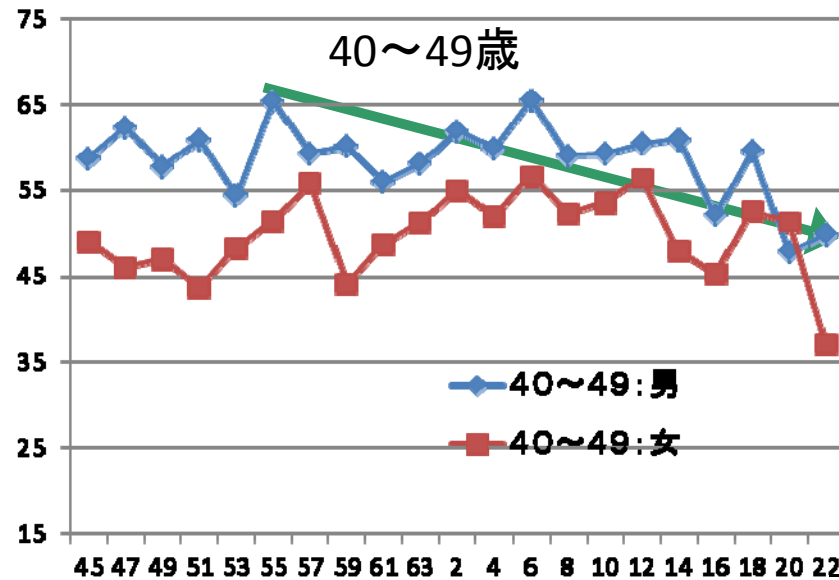
## 18～19歳



## 20～29歳



## 40～49歳

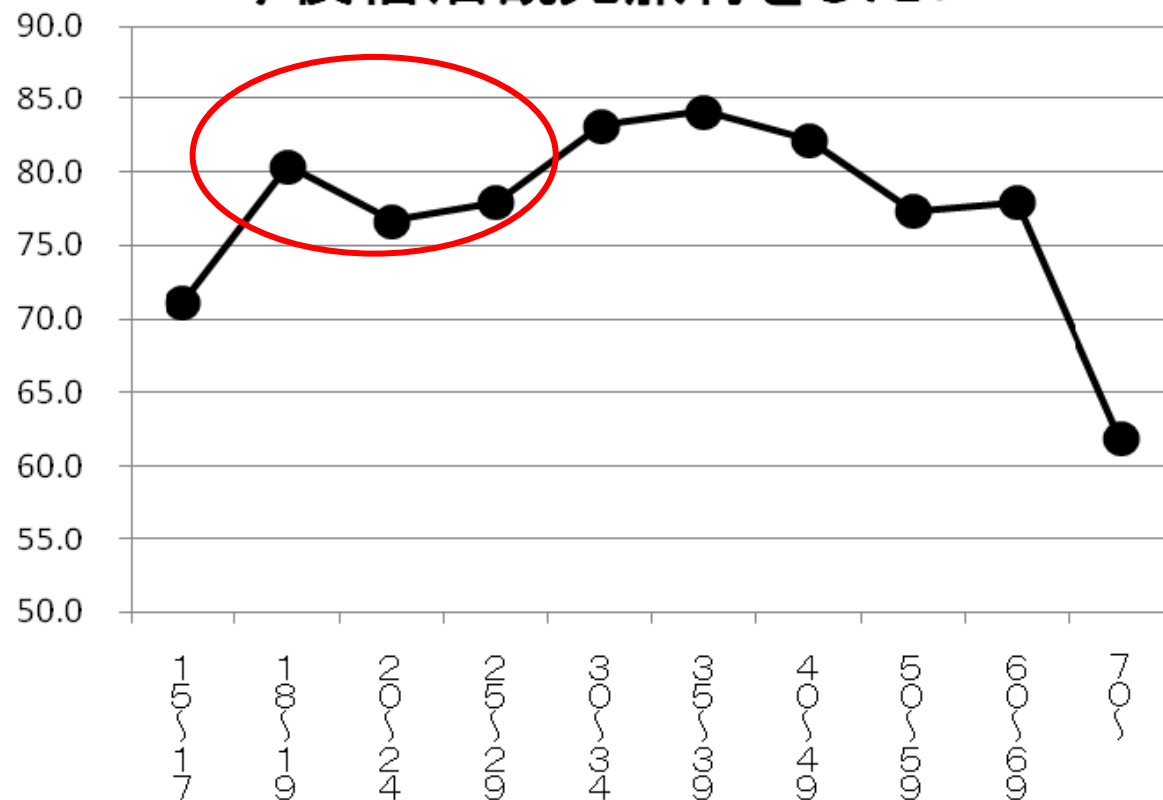


若者の旅行参加率＝減少傾向大

若者は  
旅行に参加しなくなっている

# 宿泊旅行への希望

## 今後宿泊観光旅行をしたい



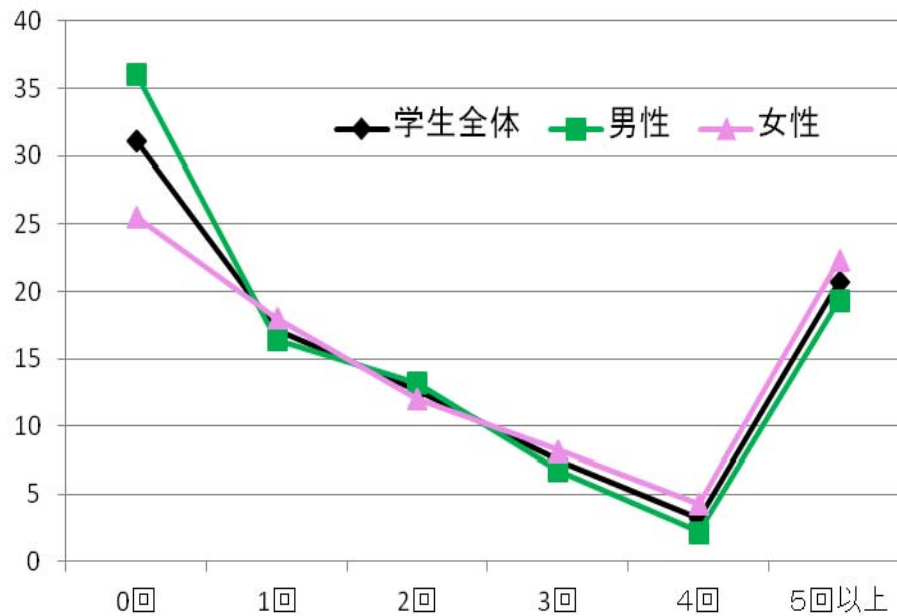
実態より高い希望



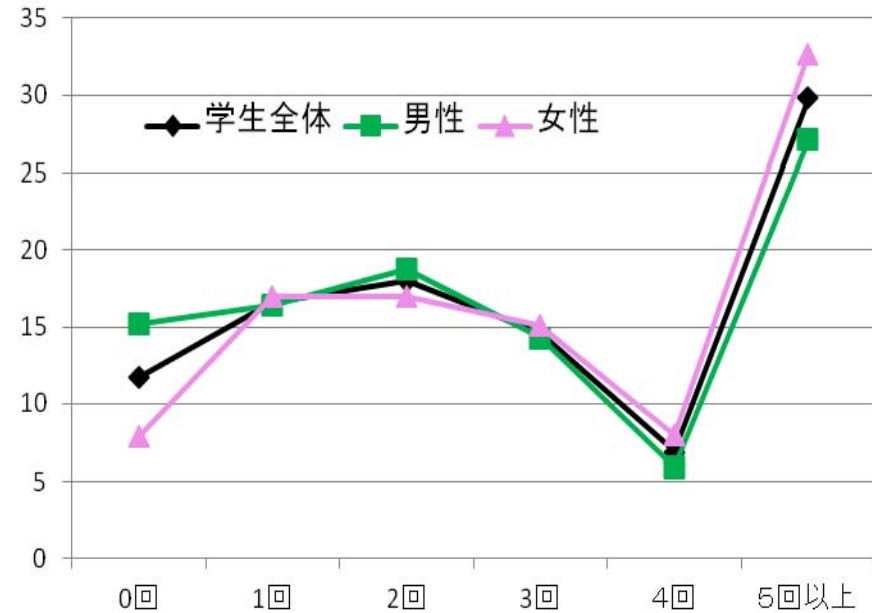
高いニーズの存在

# 存在する格差???

## 日帰り旅行回数



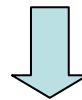
## 宿泊旅行回数



0回と5回以上が大

旅に出ない男性

5回以上が非常に多い



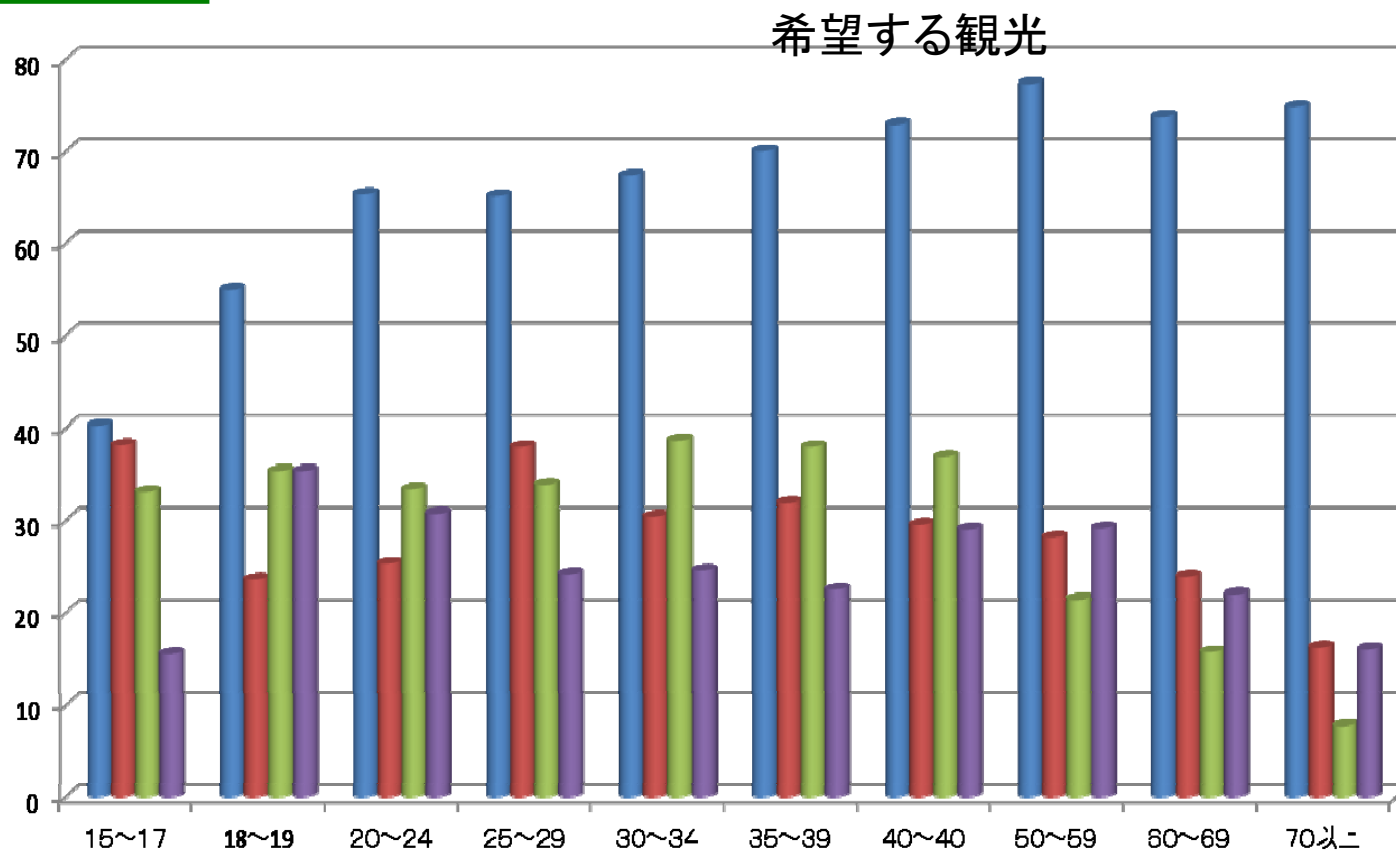
個人差が大きい???

⇒一律に言えない面も



# 若者の旅行の実態・意識は??

## 希望

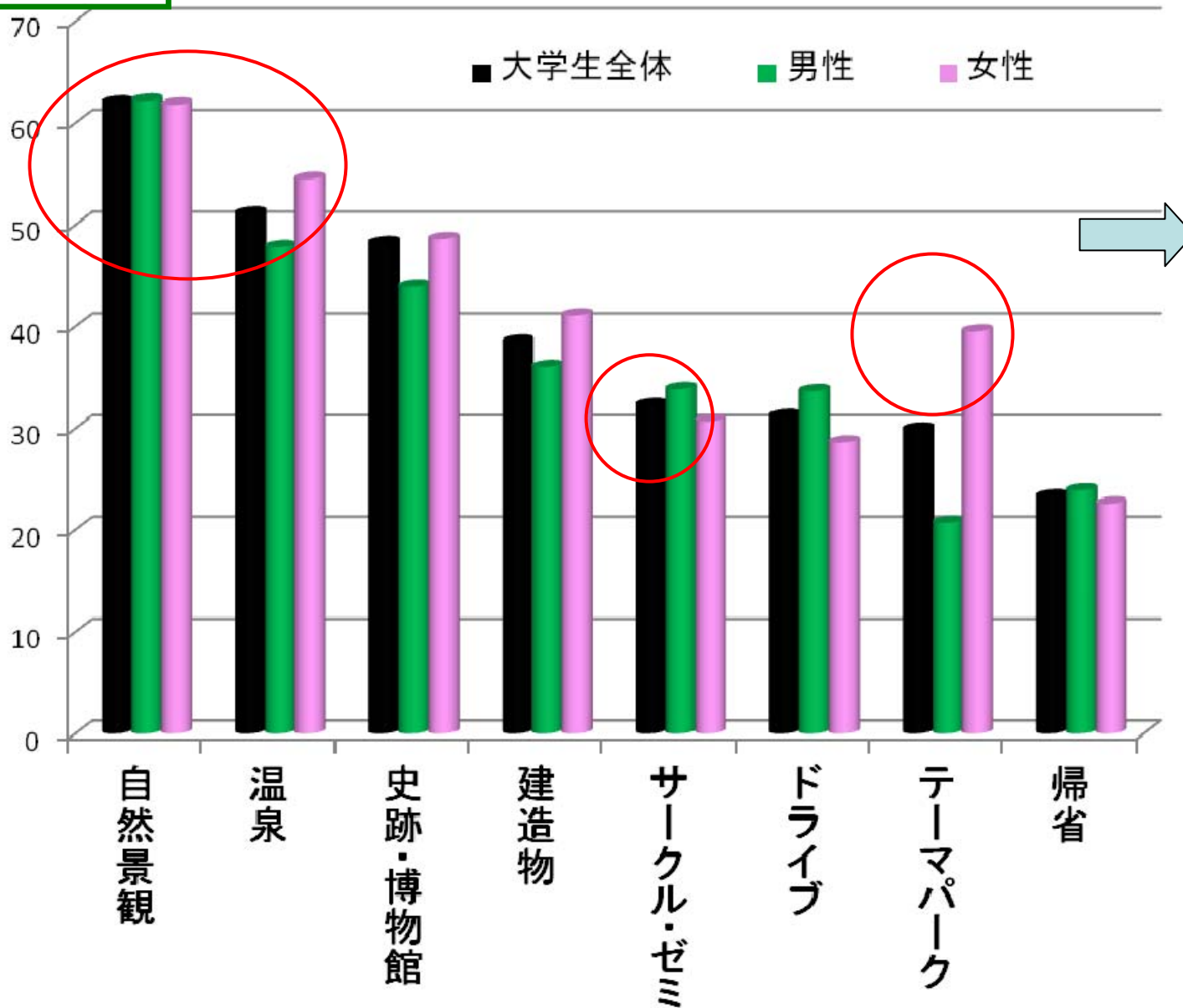


ダントツの温泉観光

■ 温泉観光 ■ 祭やイベント観光 ■ リゾートライフ ■ ドライブ観光

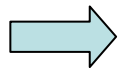
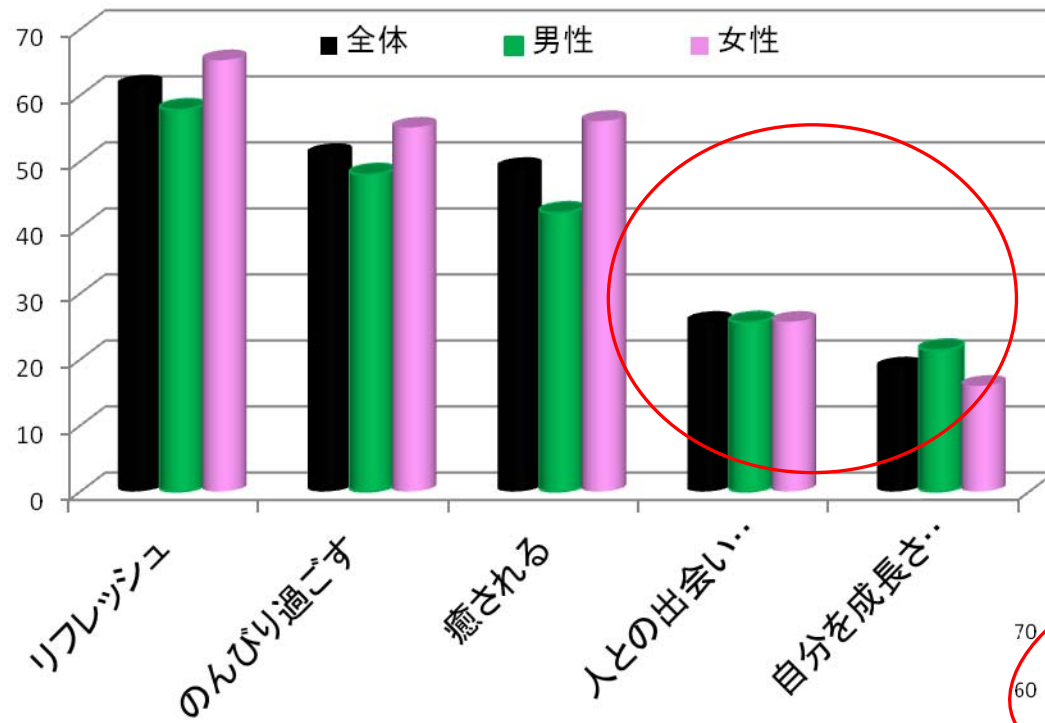
# 目的

## 旅ですること



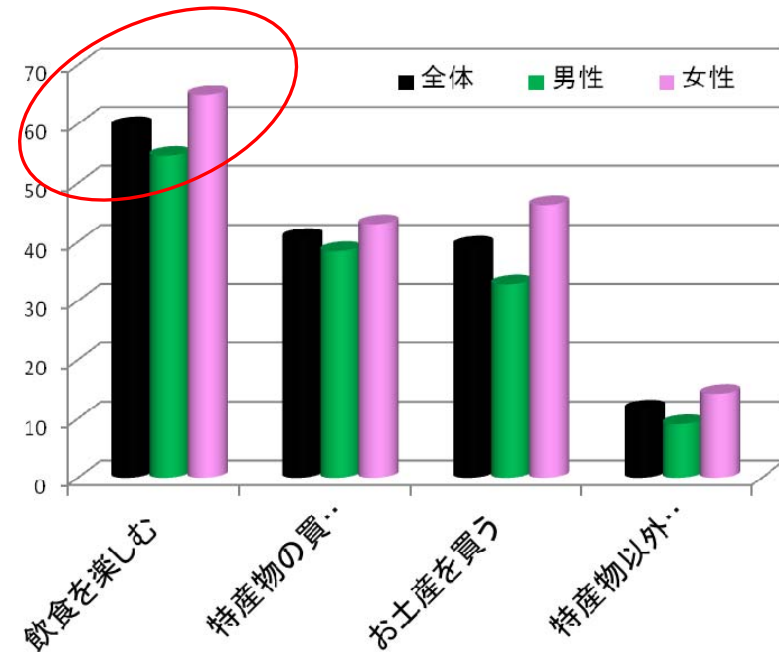
・女学生の温泉志向・テーマパーク  
・ゼミ旅行といっづジャンル(修学旅行)

## 自己の内面充実

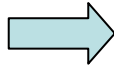
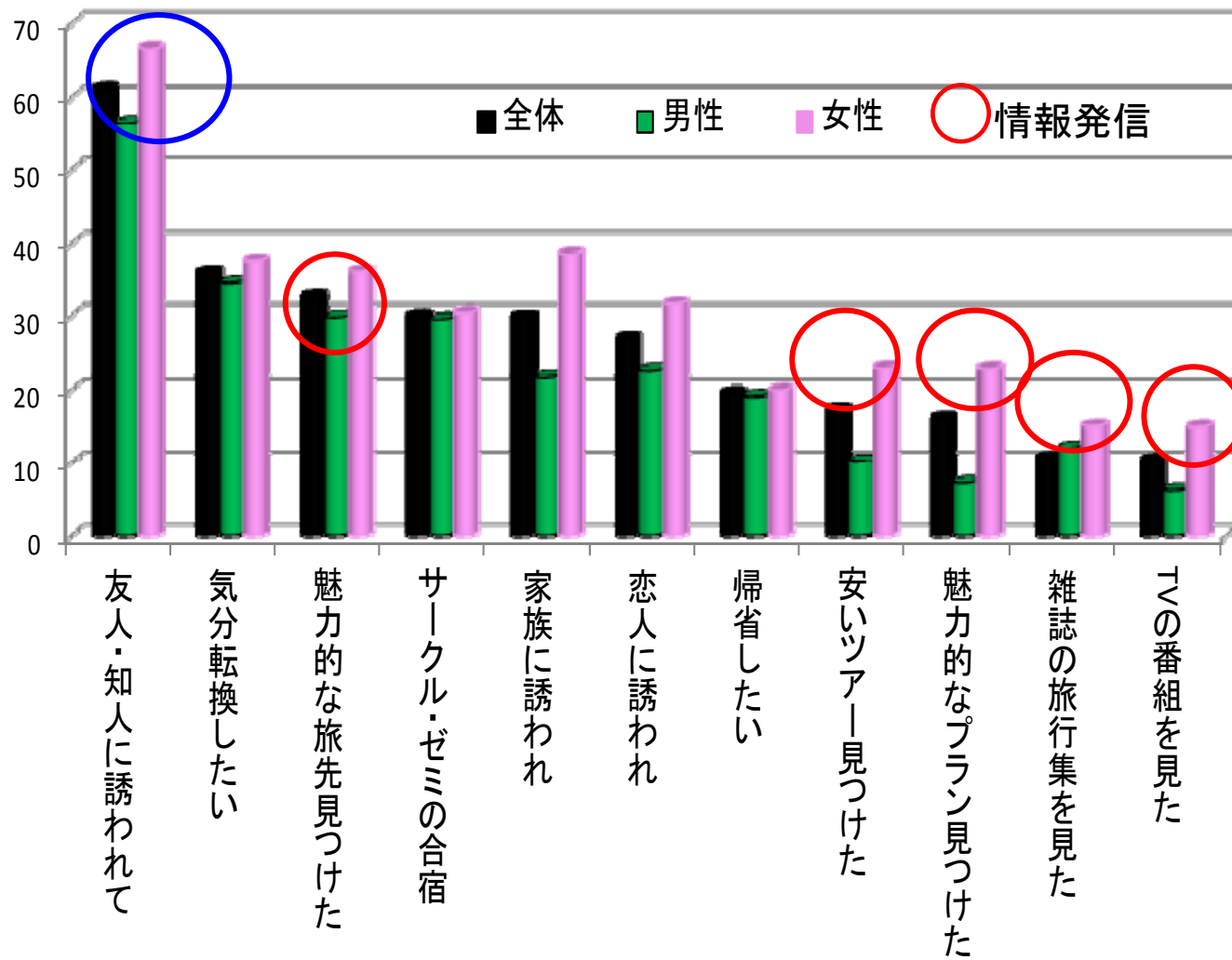


- ・リフレッシュと癒し・飲食
- ・交流？自己実現？

## 買い物・飲食



# きっかけ



- ・友人、家族
- ・魅力的な内容
- ・意外と少ないメディア発信

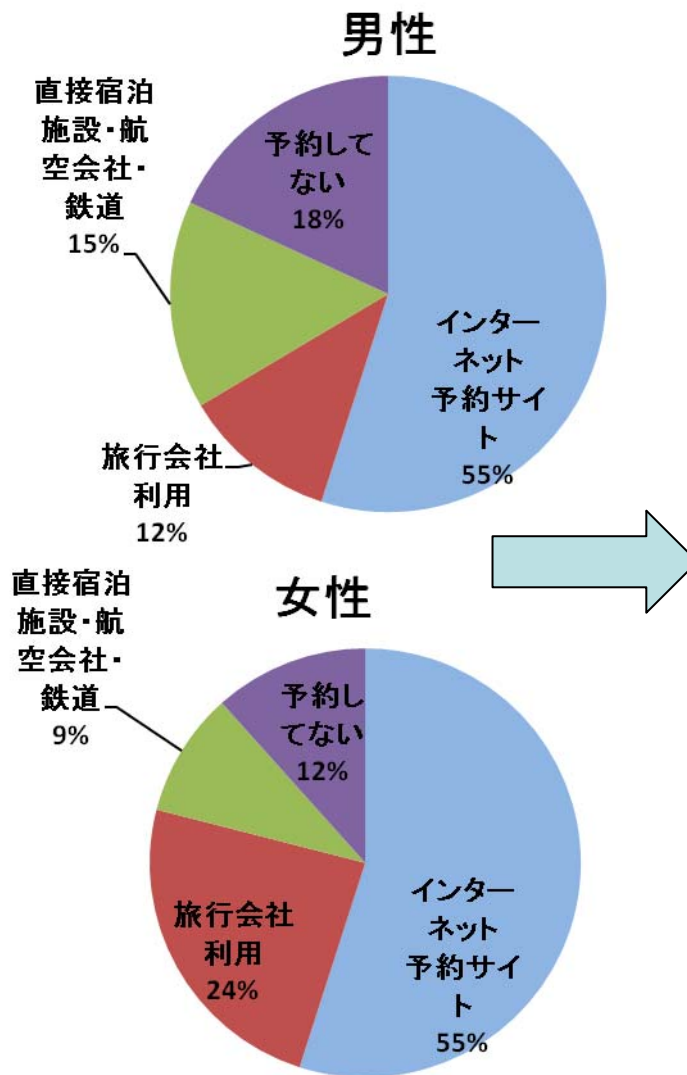
情報源

# 情報媒体

## 情報源

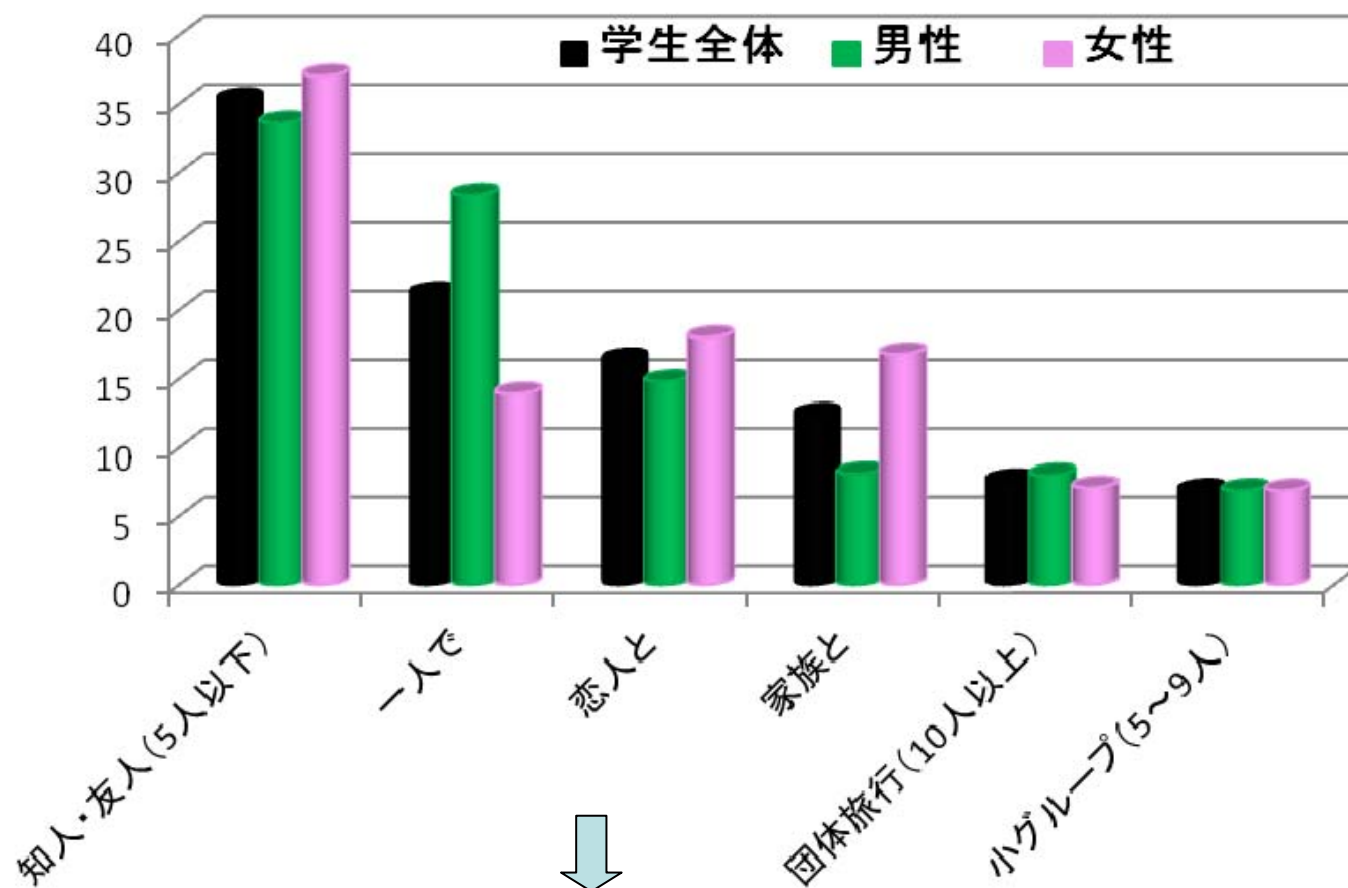
	情報源%
1位インターネット	58.5
2位旅行情報誌	47.4
3位旅行会社パンフレット	39.1
4位友人・家族の口コミ	32.6
5位一般雑誌	18.3
6位テレビ	18.3
新聞広告	5.8
ダイレクトメール	4.2
ラジオ	1.8

## 予約



・PC・携帯によるインターネット情報  
 ・予約なしも????意外に多い???

# 誰と



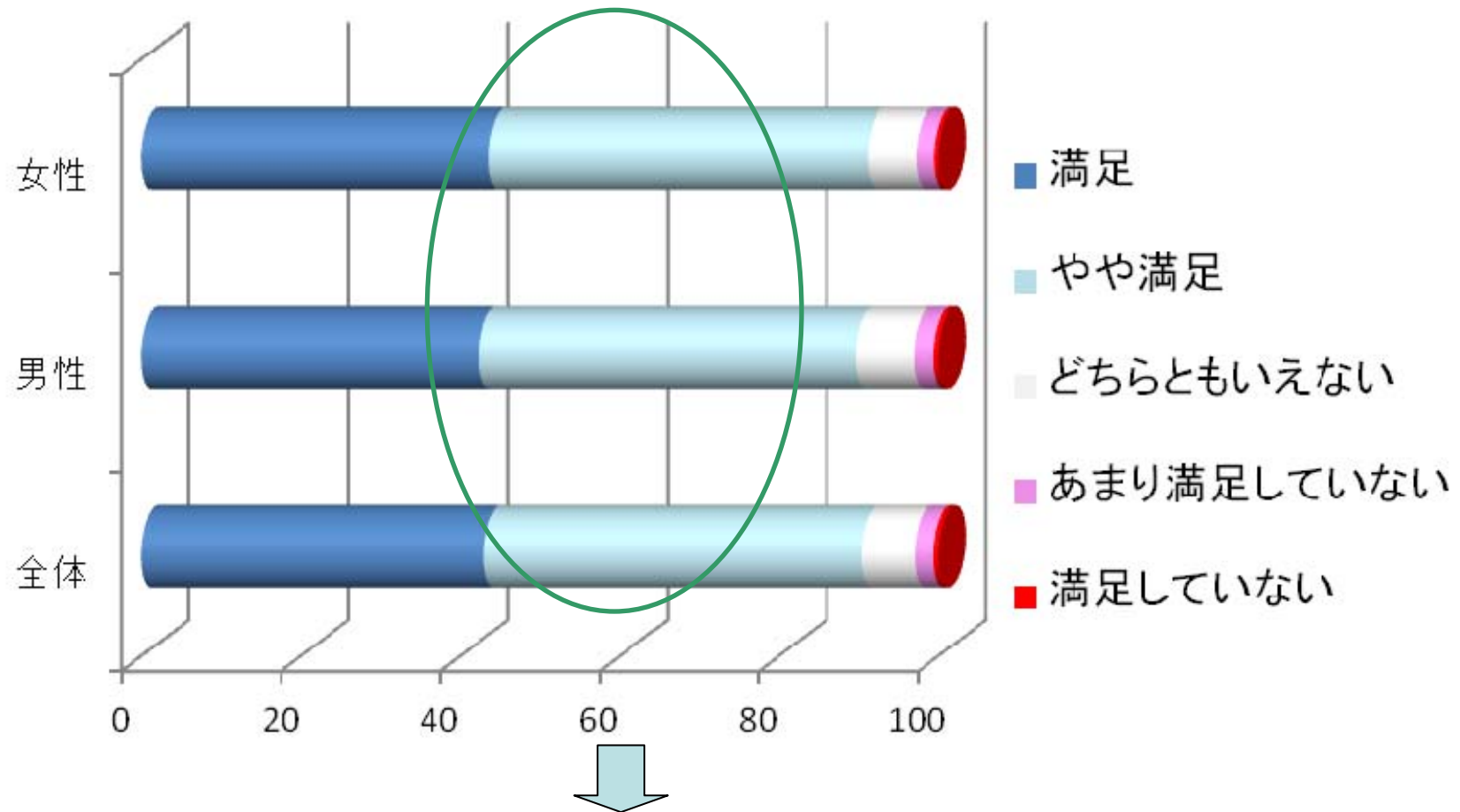
- ・男性知人・友人や一人で、  
女性は、知人・友人や家族と
- ・団体旅行はサークル・ゼミ合宿

## 費用

予算	全体平均	男性	女性
日帰り総額	11.866	10.972	12.776
宿泊旅行	32.457	32.359	32.558
現地までの交通費	11.766	11.895	11.628
宿泊費	11.972	11.208	12.778
飲食費	8.702	8.527	8.883
お土産代	6.055	5.644	6.674

女性のほうがお金を使う

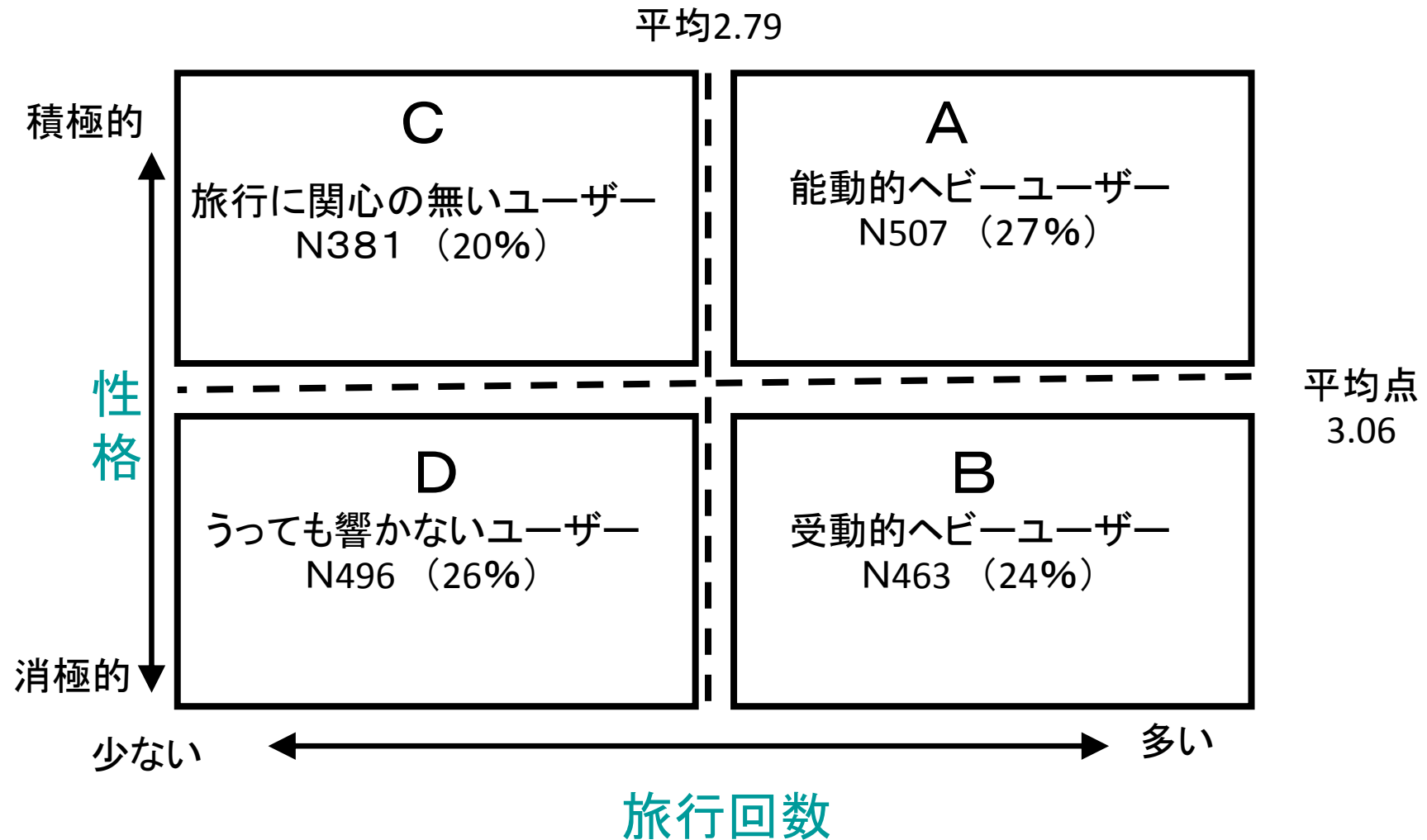
# 結果は???



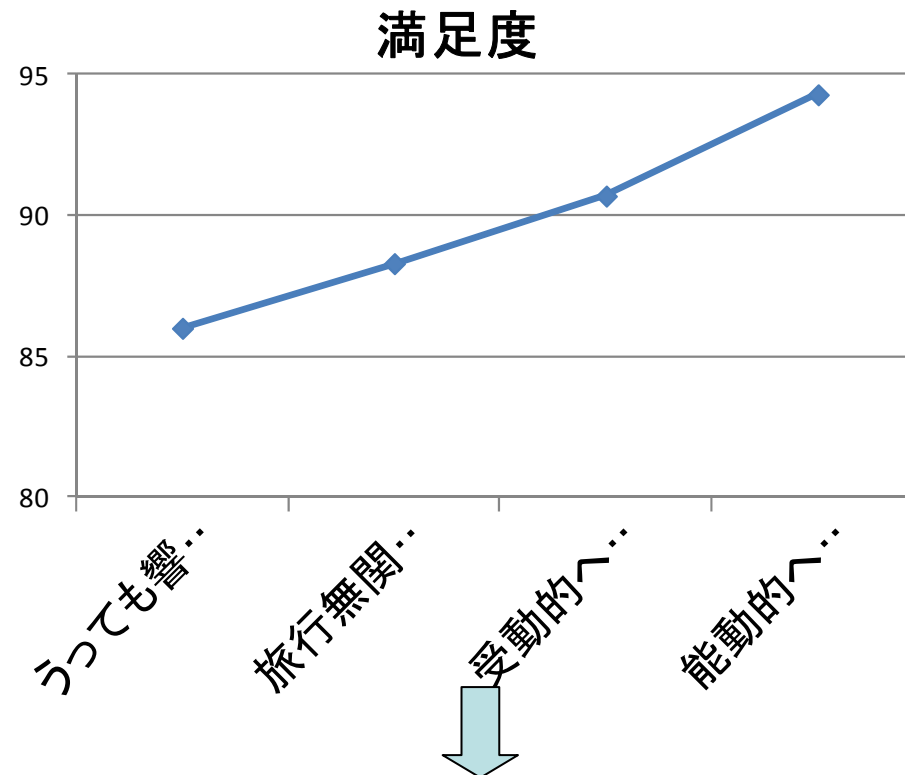
- ・やや満足が最も多いが満足が90.3%
- ・男性のほうが満足が少ない



# 旅行者タイプによる満足度の違い



# タイプ別満足度



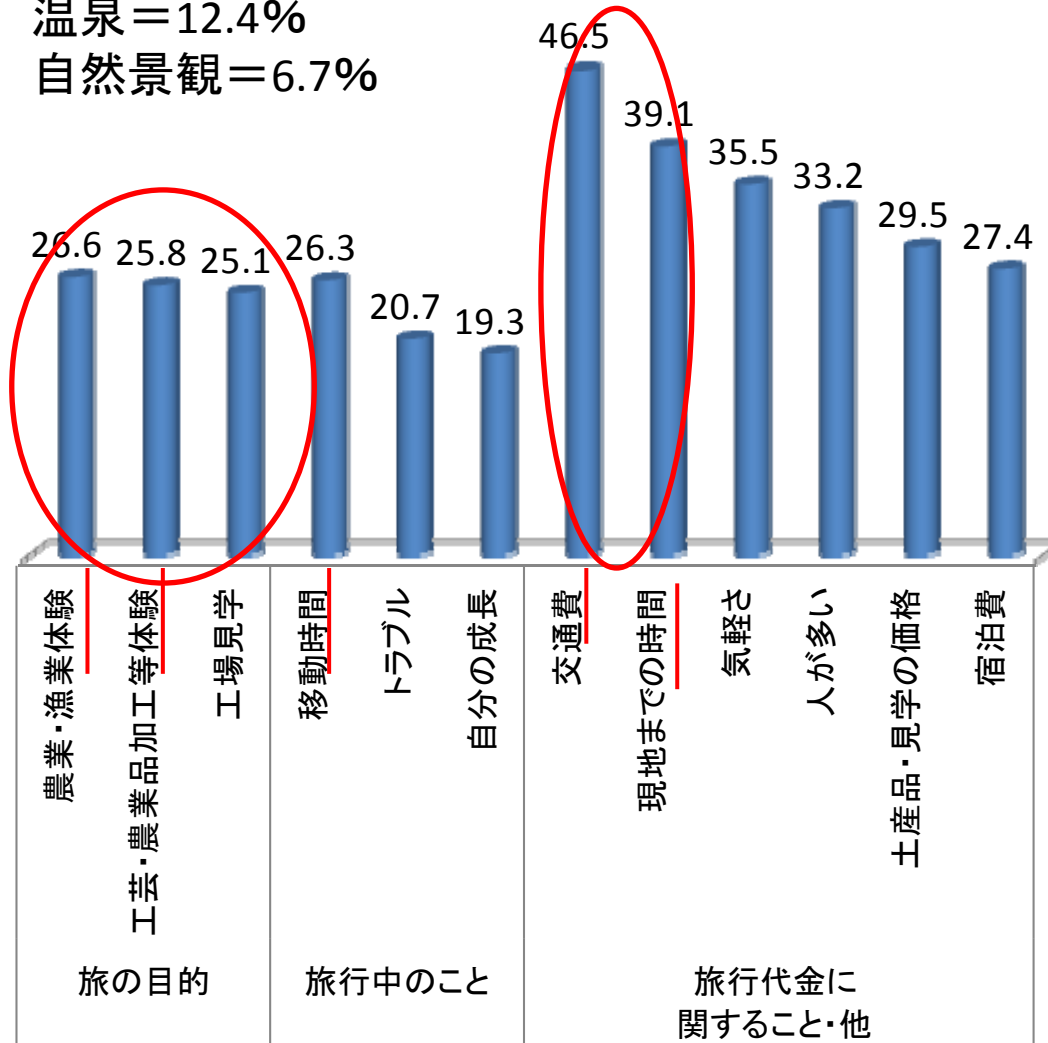
・能動的なヘビーユーザーで最も満足度が高く、うっても響かないタイプが最も満足度が低い

・満足する程度は、観光主体側にもその要因がある

# 何に不満を感じたか

## 不満の要因

温泉 = 12.4%  
自然景観 = 6.7%

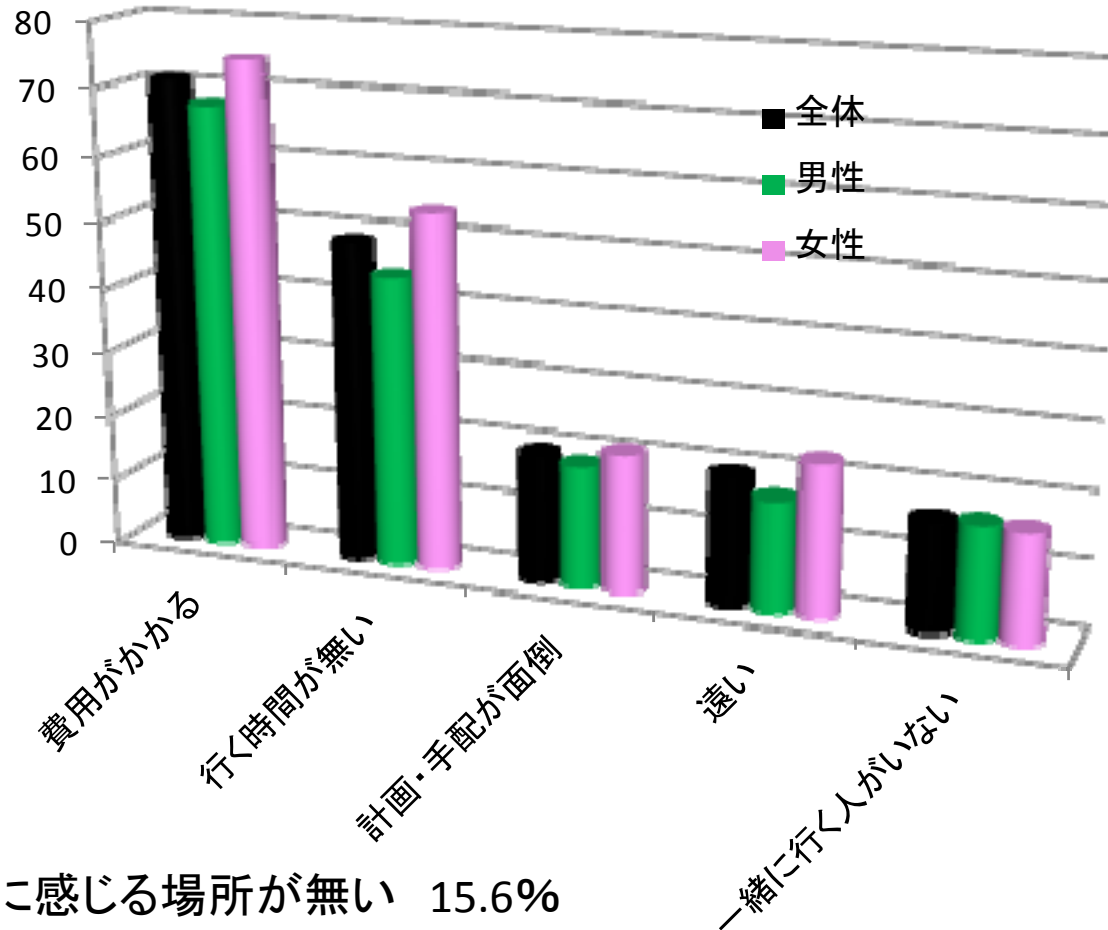


- ・代金に関する不満が多い・特に交通費
- ・体験型観光の不満が多い
- ・気軽に行けないことや混雑への不満



- ・体験観光の現実！！
- ・実施する側の満足に終わっていないか！
- ・話題性のみが先行していないか！
- ・意外と少ない宿泊費

# 若者は何故旅行に行かないか：理由

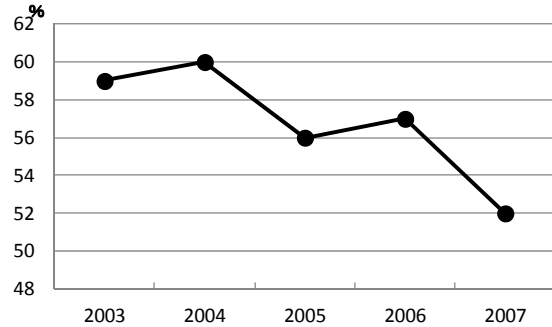


感性的な要因ではなく、  
物理的・構造的要因

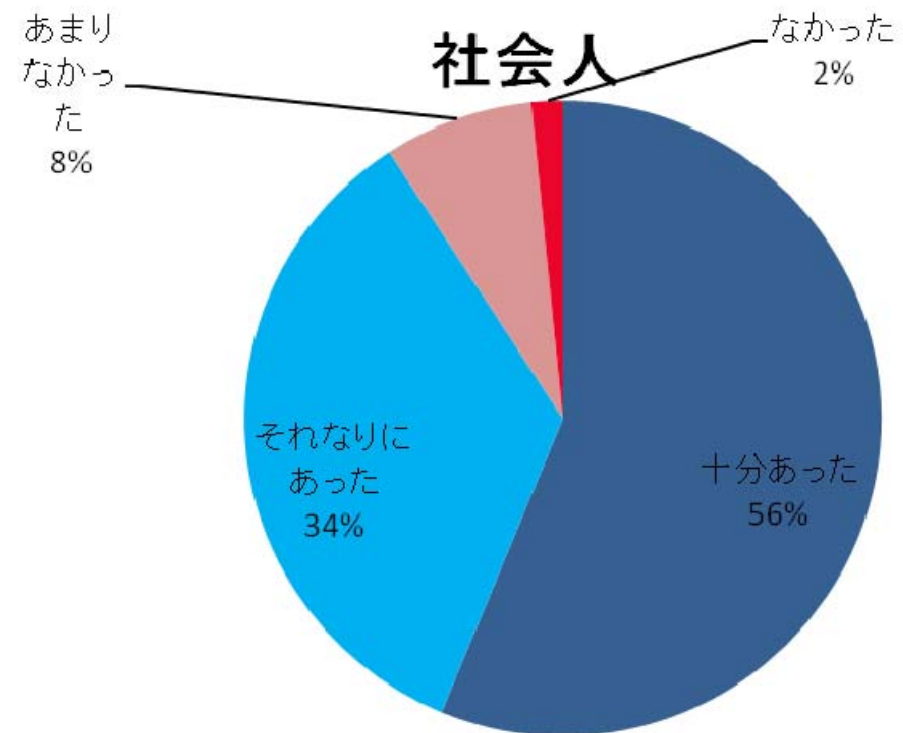
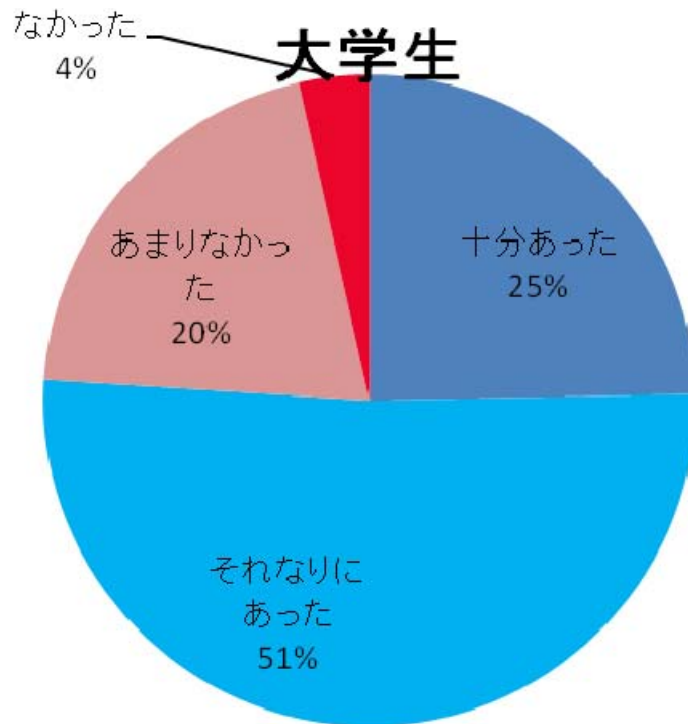
- ◎ 魅力を感じる場所が無い 15.6%
- ◎ 魅力を感じるツアーが無い 10.9%
- ◎ 魅力を感じる祭り・イベントが無い 10.4%
- ◎ 魅力を感じるものが無い 9.9%

# 果たして??

## 国内宿泊旅行実施割合

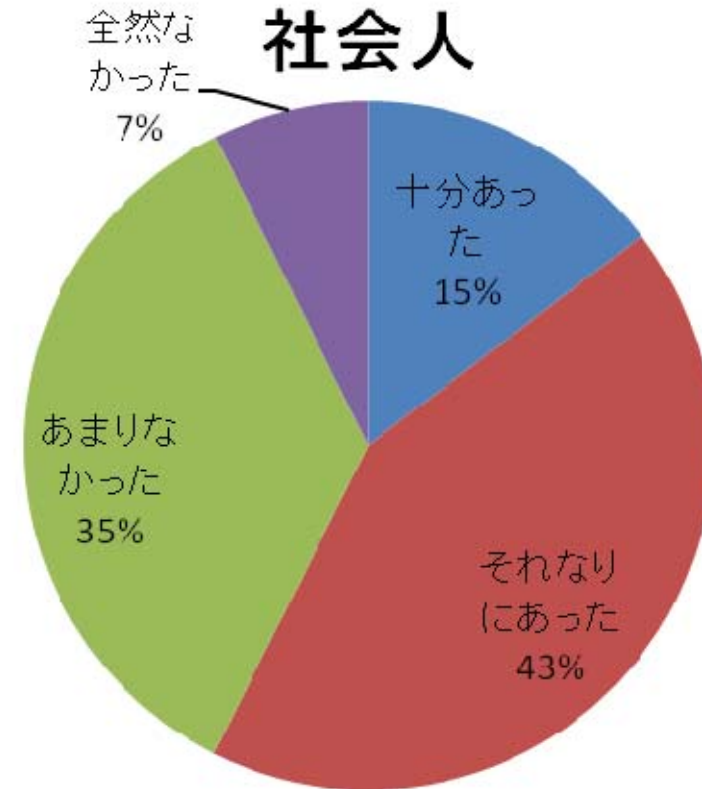
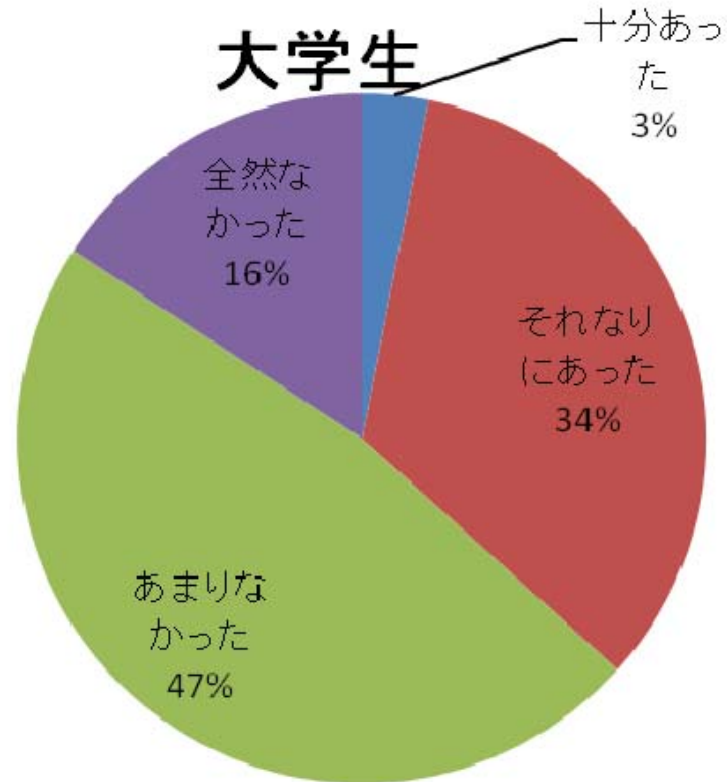


時間的余裕:20代

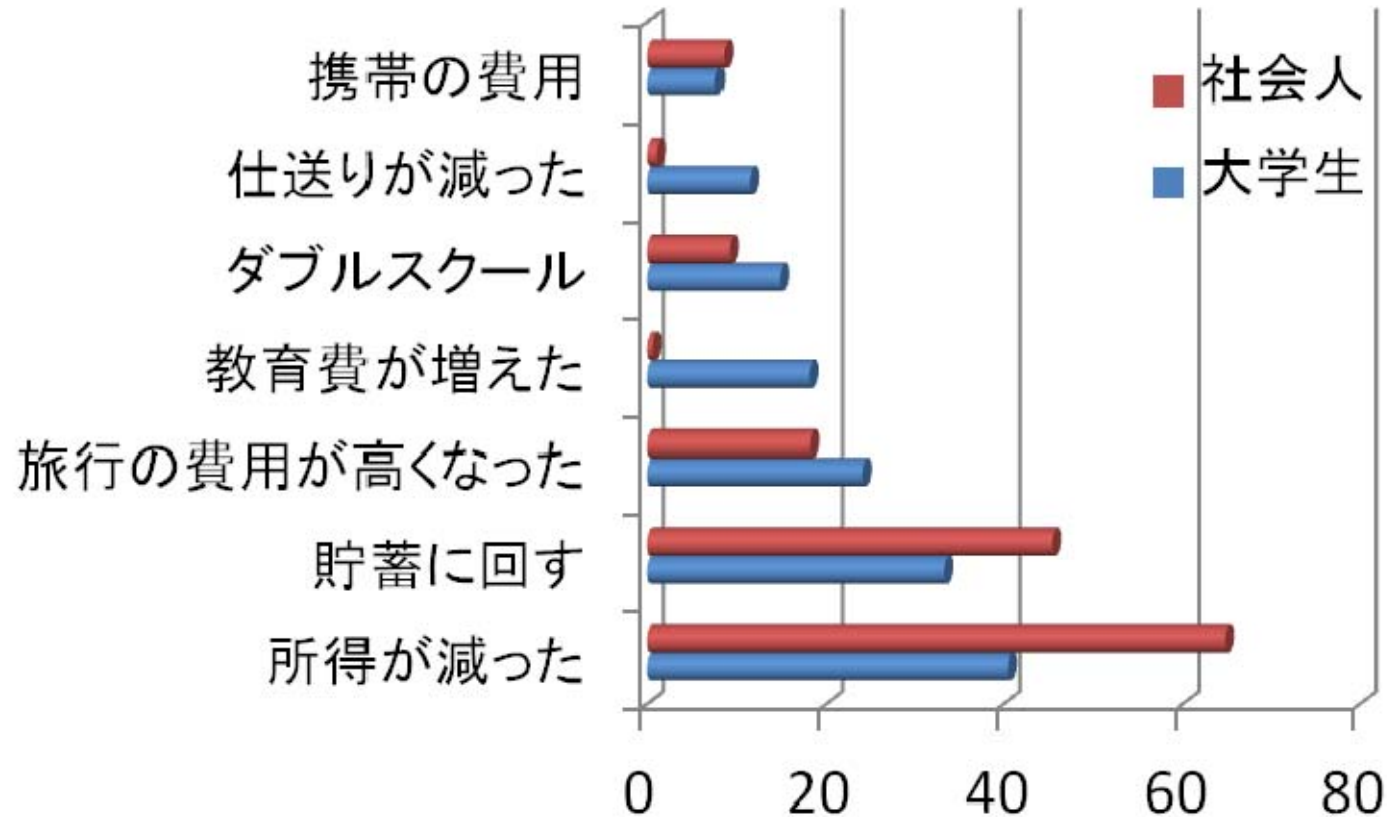


20年度日本人の観光行動に関する実態調査

## 自由に使えるお金



# お金の余裕がなくなったのは??



# 社会的不安??

# 若者の日常生活での満足感

## 住生活満足度

